



認定日：令和8年6月10日

《くるみん認定企業紹介》

株式会社テクノプロジェクト



所在地：松江市学園南2-10-14
代表者：代表取締役社長 山中 茂
業種：情報通信業
創業：1984年（昭和59年）3月
労働者数：247人（女性65人）
HP：<https://www.asunaro-izumo.or.jp/>
認定回数：くるみん認定（2回目）

女性の育児休業等取得率
100%(6名)

男性の育児休業等取得率
77%(14名)

在宅勤務制度
テレワーク制度 導入
短時間勤務制度

▶くるみん認定に向けた取組のきっかけ・経緯など

当社では、社員一人ひとりがライフイベントを迎えても、安心して働き続けられる職場づくりを重要な経営課題の一つとして取り組んできました。2009年に島根県の「こころカンパニー」認定を、2012年にくるみん認定取得以降も、仕事と育児の両立支援を継続して推進しています。今回の計画期間では、特に男性社員の育児休業取得促進や、柔軟で働きやすい職場環境の整備に重点的に取り組みました。こうした取組と成果が認められ、2回目のくるみん認定取得につながりました。

▶子育て支援に関する取組方針や取組、工夫したこと、苦勞したこと

当社では、男女を問わず、子育てと仕事を両立できる職場づくりを基本方針としています。育児関連制度の周知や対象社員への個別説明、育児休業取得者の体験共有に加え、短時間勤務制度やテレワーク勤務など、柔軟な働き方を推進してきました。育児短時間勤務制度は小学校3年生終了時まで利用でき、状況に応じてテレワーク勤務を活用することも可能です。

また、育児休業を取得する社員だけでなく、その間の業務を支える職場の仲間にも感謝を示し、職場全体で子育てを応援する風土をつくるため、2024年11月に「育休職場応援祝い金制度」を新設しました。

これは、育児休業取得者が発生した場合に、対象期間中の取得者数に応じて全従業員へ祝い金を支給する制度です。育児休業を取得する本人だけでなく、業務を支える周囲の社員も含めて応援することで、「みんなで支える育児」を形にした取組です。



▶取組の成果・効果等

長年にわたる制度整備と啓発活動の成果により、これまで取得者が少なかった男性社員の育児休業取得が大きく進みました。計画期間中は、配偶者が出産した男性社員 18 人のうち 14 人が育児休業等を取得し、取得率 77%を達成しました。また、女性社員の育児休業取得率は 100%となり、計画期間中に出産や育児休業を経験した社員の離職もありませんでした。男性社員の育児休業については、取得することが特別なことではなく、仕事と家庭を両立するための自然な選択肢として、社内に浸透しつつあります。

また、「育休職場応援祝い金制度」の導入により、育児休業取得者だけでなく、周囲の社員にも「職場全体で支える」という意識が広がり、子育てを応援する企業風土の醸成につながっています。

▶今後に向けて

少子化や働き方の多様化が進む中、子育て支援は単なる福利厚生の一つではなく、社員が安心して能力を発揮し、長く活躍し続けるための重要な経営基盤であると考えています。今後は、育児だけでなく、介護や不妊治療など、さまざまなライフイベントと仕事との両立支援をさらに充実させていきます。また、短時間勤務制度やテレワーク勤務などの柔軟な働き方を活用しながら、一人ひとりの状況に応じた働き方の実現を目指します。さらに、「育休職場応援祝い金制度」に象徴されるように、制度を利用する社員だけでなく、それを支える職場全体を応援する風土づくりを進め、誰もが安心して制度を利用できる環境を整えてまいります。社員一人ひとりが仕事と家庭の双方を大切にしながら成長できる企業を目指すとともに、地域社会における子育て支援の推進にも貢献し、次世代を担う人材が安心して働き続けられる職場づくりを続けてまいります。

